

# 公金収納におけるeLTAX活用に向けたTKCの対応について

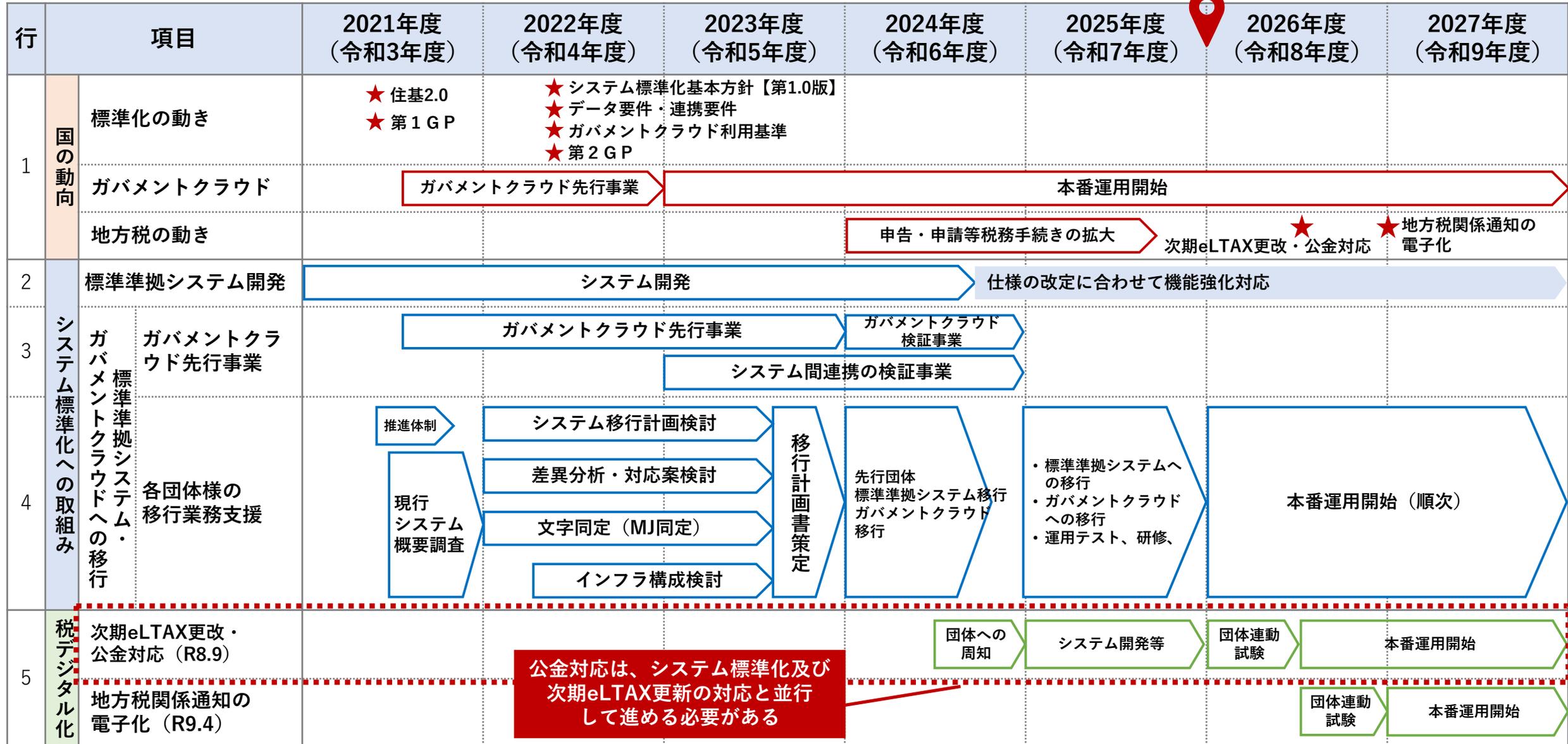
令和6年12月18日

株式会社TKC 地方公共団体事業部



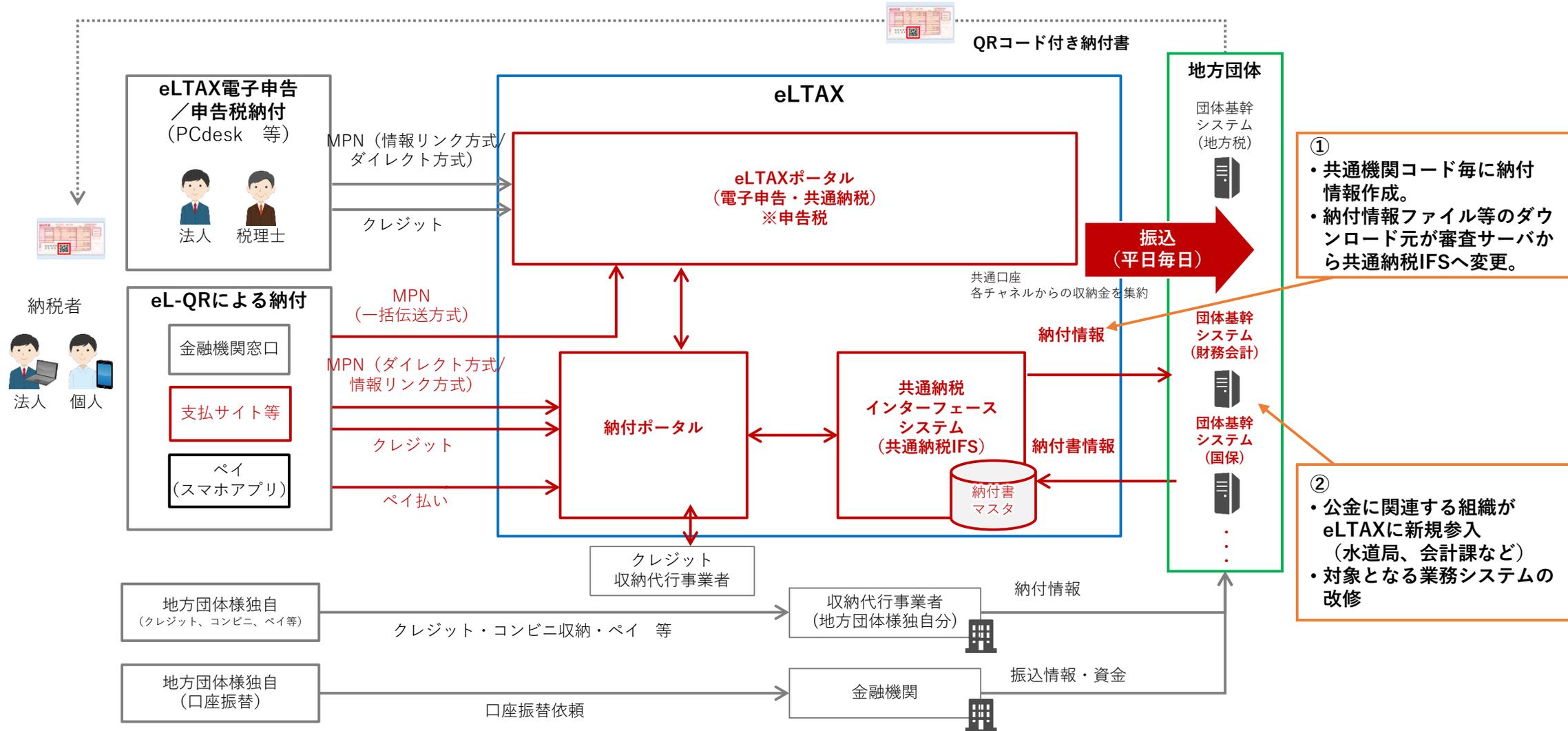
# 1. TKCの全体スケジュール

自治体システム標準化・共通化  
対応期限



## 2. 公金収納におけるeLTAXの活用後の実現イメージ

公金収納対応後の実現イメージは以下のとおりです（公金収納対応によって変更等が生じる箇所を赤字で記載）。特に、①から②が団体が提供するサービスに影響します。



#### ● 公金収納に係る関連システムの対応

想定される  
対応

- 各団体のサービス開始に遅滞なく対応できるように、公金収納に係る関連システムは令和7年度中を目途に、システム対応を完了する開発計画の策定が必要
- 業務が多岐に渡り部門横断的な対応が必要

#### < 想定される関連システムの事例（公金を取り扱うシステム） >

- ・ 財務会計システム
- ・ 介護保険システム
- ・ 子ども子育て支援システム
- ・ 給食費管理システム
- ・ 公営企業会計システム
- ・ 公営住宅システム
- ・ 受益者負担金システム
- ・ 町設置型合併浄化槽（分担金・使用料）
- ・ し尿処理手数料管理
- ・ 収納消込システム
- ・ 後期高齢者医療システム
- ・ 学童保育システム
- ・ 水道料金システム
- ・ 公共施設案内・予約システム
- ・ 浄化槽使用料
- ・ 農業費分担金
- ・ し尿管理
- ・ 高齢者福祉

### 3. 当社サービスへの影響

- 税目・料金番号については、各地方団体において名称や取扱い等が多種多様であることから、「地方公共団体への公金納付のデジタル化に係る実務検討会（令和5年9月）」において、税目・料金番号に限りがあることも踏まえ下記のとおり**全国共通の標準コードとして整理したため、下記番号以外は使用できない**ことに留意
- そのため、地方団体において、下記番号に加えてさらに詳細な区分管理が必要となる場合は、eL-QR格納項目のうち「案件特定キー」等を地方団体が独自の規則で区分管理することにより対応

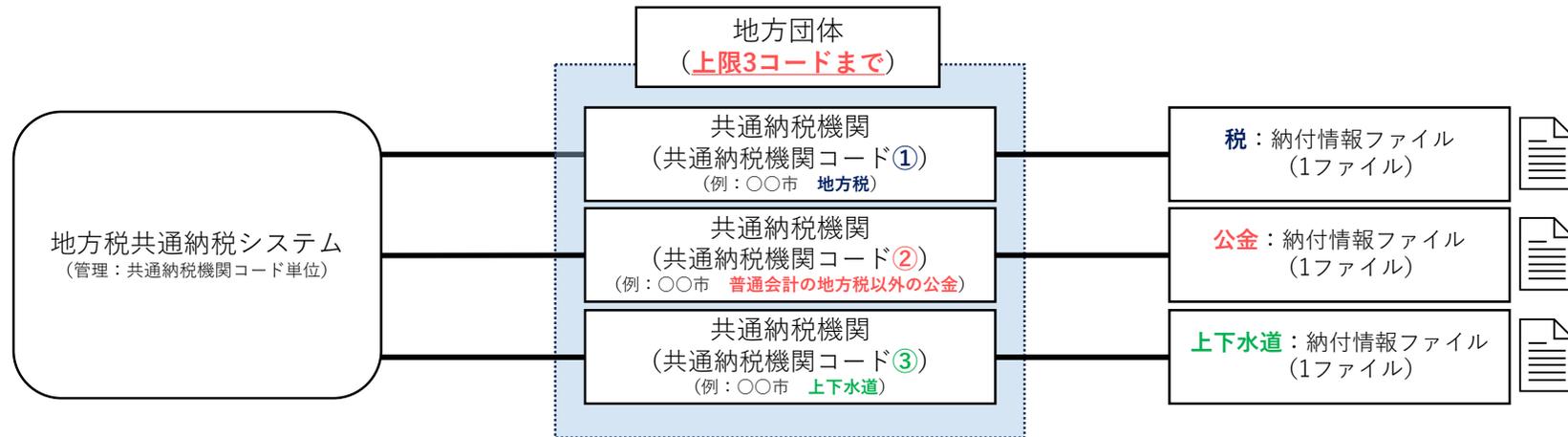
税目・ 料金番号	名称（仮）	略称名（仮）			
		全角4文字以内	全角5文字以内	半角8文字以内	半角10文字以内
201	水道使用量	水道料	水道料金	スイドウ	スイドウリョク
202	下水道使用料	下水道料	下水道料金	ゲスイドウ	ゲスイドウリョク
203	水道使用量・下水道使用料	上下水道	上下水道料	ジヨウゲスイ	ジヨウゲスイ
204	国民健康保険料	国保料	国民保険料	コクホリョク	コクホリョク
205	介護保険料	介護保険	介護保険料	カイゴホケン	カイゴホケンリョク
206	後期高齢者医療保険料	後期高齢	後期高齢者	コウキコウレイ	コウキコウレイシヤ
207	道路占用料	道路占用	道路占用料	ドウロセンヨク	ドウロセンヨク
208	行政財産使用料	財産使用	財産資料料	ザイサンヨク	ザイサンヨク
209	港湾占用料	港湾占用	港湾占用料	コウケンセンヨク	コウケンセンヨク
210	河川占用料	河川占用	河川占用料	カケンセンヨク	カケンセンヨク
215	分担金	分担金	分担金	ブンタンキン	ブンタンキン
216	負担金	負担金	負担金	フタンキン	フタンキン
217	使用料	使用料	使用料	シヨウリョク	シヨウリョク
218	手数料	手数料	手数料	テスリョク	テスリョク
219	その他公金	その他公金	その他公金	ソノタコウキン	ソノタコウキン

**細分化をご検討いただき  
ありがとうございました**

### 3. 当社サービスへの影響

- 1つの共通納税機関コードにつき1つの納付情報ファイルが配信されることから、地方団体は必要に応じて納付情報ファイルを「税目・料金番号」や団体が設定した「案件特定キー」等で分割等を行った上で財務会計システムや各公金を管理しているシステムへ取込む対応が必要、また、1つの共通納税機関コードにつき1つの入金口座を設定
- eLTAXを活用した公金収納への対応にあたり、1団体につき、現行の地方税に係るものを含め、原則上限3つまで共通納税機関コードを取得可能
- 現行の地方税に係るものを含め、原則上限3つの範囲内で共通納税機関コードを任意に複数取得していただくことを想定

#### < 共通納税基幹コードと納付情報ファイルの関係 >



**【補足】**  
納付情報ファイルの連携単位については、現行システムでは地方団体単位で作成していたが、各団体で複数の共通納税機関コードを保有することに伴い、共通納税機関コード単位で作成することに変更する。

**公金収納の対応に伴い  
新たに追加**

## 4. 団体及び社内への周知していること

- **庁内の方向性の検討及び決定**
  - ・ 庁内の取りまとめ部局
  - ・ 実施（したい）対象とする公金種類の選定
  
- **方向性の実現に向けた事前準備及び体制整備**
  - ・ システム対応状況の確認やインフラ環境の整備
  - ・ 実施スケジュール（関連機関等の審査等含む）
  - ・ システムや運用フロー変更に伴う業務整理
  
- **実現に向けた予算の確保**

## 4. 団体への情報周知

プライベートフェアや当社が発行する情報誌等を活用して情報周知を図っています。



**【TASKクラウドフェア2024】**

### 地方税に係る手続きの 「デジタル完結」に向けた動向

令和6年7月30日

株式会社TKC 地方公共団体事業部

※本資料でご説明する内容は、令和6年7月時点のものです。



**風新**  
新風(かぜ)  
松野重隆編集長

2024.7 vol. 135

スマート行政 DX推進を支援する情報誌  
2024年7月1日発行(年4回発行) 編集発行:株式会社TKC

**特集** DX推進担当者在談会

### どう進める? 「書かない窓口」

——新たな価値提供へ、セルフ方式や事前申請も

参加団体 栃木県宇都宮市 / 東京都清瀬市 / 新潟県長岡市

**レポート**  
「自治体DXの進捗調査に見る行政デジタル化の状況」

**TREND VIEW**  
「LIGWANを利用したガバメントクラウド接続」  
地方公共団体情報システム機構 LIGWAN全国センター

**スマート行政最前線**  
「入金収納拡大で、進むキャッシュレス精付」

**TKC Support Information**  
オンライン申請の利用拡大へもっと便利な機能を拡充 / スマート申請システム  
標準化に伴う留意点とTKCの対応 / アウトソーシングサービス

**ニュース**  
「短期窓口サービスの研究」

**TASKクラウド**  
詳しくは <https://www.tkc.jp/lq/>

## 5. 想定される課題

- その他公金に相当数の科目が入ることが予想され、ベンダー間で案件特定キーの重複の可能性がある。また、複数ベンダーのデータが混在するため、収納データの特定が困難になる可能性がある。
- 実施部局（特にeLTAX未導入部局）や対応時期が団体ごとに異なることによる導入支援業務の煩雑化。標準化・共通化対応や同時期の更改業務等の状況も鑑みて実施する必要がある。
- 複数科目の集約されることで、支払い時の科目名称がその他公金となってしまうことにより、利用者の混乱などの恐れがある。
- 市区町村ごとに3口座に分割できるが、一般会計、特別会計、公営企業会計と会計分類ごとに分ける以外に科目単位に口座を分けている事例がある。入金口座が集約されることによる、事務の煩雑化の可能性が  
ある。
- 市区町村で以下の事項を整理する必要がある。

### < 整理事項（例） >

①公金納付の対象科目の選定と取りまとめ部局の選定

②①対象科目のベンダー対応可否の確認。連携方法の確認

※その他公金に複数ベンダーがまたがる場合は、案件特定キー付番方法の整理等が必要。

③入金対象の口座の分類方法

- 市区町村のベンダーへの問い合わせ先が不明瞭（認定委託先事業者への問い合わせなど）。



**URL** <https://www.tkc.jp/lg/>

**TEL** 028-648-2111

**Address** 〒320-8644 栃木県宇都宮市鶴田町1758

TASKクラウド

